

copyright © 2012 片桐史裕

「問題提起」と「一般―実は」に注意して、各段落ごとに「主張」をノートにまとめていこう。

妖怪と現代社会云

①

たしかに

現代の夜の東京で、夜の平安京を闊歩していたという
苗鬼たちの群衆は姿を現した者はいない。東京のど真ん中で、江
戸の町で人をしばしば化かしていたキツネに化かされたという話も聞
いたことがない。その意味では、鬼も、妖怪キツネも、そして現実世界
に出現するとされていた妖怪に会ったという話はなく、多くの妖怪は消
えてしまった。

しかしながら、~~まことに興味深いことは、~~現代においても、妖怪たちは
生き続け、また、新たに生まれているのだ。

たしかに、現代の夜の東京で、妖怪に会ったという話はなく、多くの妖
怪は消えてしまった。

しかしながら、現代においても、妖怪たちは生き続け、また、新たに生
まれている。

省けるところは省いて、骨
格を書こう！

②

妖怪文化には、現実世界に出没すると語られるレベルでの妖怪と、
物語作者たちの想像力によって生み出されたフィクションのレベ
ルでの妖怪とがある。

③

近代の科学文明の発達・浸透とともに消滅すると思えた妖怪が、
現代の大都会にも出没するのは**どうしてなのか**。妖怪の温床の
「闇」が、都会ではなくなってしまったのに、**どうして**妖怪は発生し得
るのだろうか。

その答えは現代社会にも妖怪を想像する力を持った人間がたくさんい
る**からである**。

※これらの例を参考に続きを書いていくこと。「問題提起」・「一般―実は」
の形式でなくても、これは書きとめてまとめておくべきということとはぜひ書
いておくこと。

※教科書の文章をそのまま写すのではなく、著者の主張の骨格を書くよう
にしよう。しかし、削除しすぎてもとの意味と変わるようではいけない。

フリースペース
(自分でまとめたこと
に対する新たな疑問、
わかったことなどを書
いていく。)

どうやってどこ
に生きている
の？